

「がん」コーナー新着図書を紹介(No. 6)

書名・著者・出版社(年)	内容紹介	請求記号	資料番号	内容分類・場所
『「抗がん剤は効かない」の罪』 勝俣 範之 著 毎日新聞社(2014. 3)	近藤誠氏の“がんもどき理論”など偏った見解を医学的に指摘し、放置療法の不当性を訴える。近藤氏への医学的な反論における正当性を理解するには難しい点もあるが、一人ひとりの「がん」と、その治療法がそれぞれ異なることが理解できる。	494.5/オツ	322011776	分類
				がん治療
				がん関係図書コーナー
がん7				
『大学教授がガンになって わかったこと』 山口 仲美 著 幻冬舎(2014. 3)	「S状結腸がん」と「膵臓がん」を体験した闘病記である。二度のがん体験を通じて、患者の視点で「がん」治療の実情を記している。	493.4/ヤマ	322011891	分類
				がん闘病記・治療
				がん関係図書コーナー
がん8				
『生きて、ありがとう』 明日香 著 ゆいぽおと(2014. 4)	シンガーソングライターの明日香さんが、平成25年10月に乳がんで亡くなる直前まで、思いをつづられたブログをまとめた図書である。歌を愛し、たくさんの人に愛された明日香さんの前向きに生きた「がん」闘病記である。	767.8/アス	322013319	分類
				乳がん闘病記
				がん関係図書コーナー
がん8				
『末期ガンからの生還』 高田 裕一 著 ラピュータブックス(2014. 4)	著者が奇跡的に「がん」から回復した本書の事例は、ごく稀なケースと理解すべきでしょう。その反面、早期治療の重要性や食生活の大切さを実感し、代替治療を考える内容になっている。	916/タカ	322012287	分類
				大腸がん闘病記
				がん関係図書コーナー
がん8				

<p>『これでもがん治療を続けますか』 近藤 誠 著 文藝春秋(2014. 4)</p>	<p>がん患者にとって最良の治療とは何か、有名人の死因や、日本のがん治療の実状にも踏み込んで提言する。</p>	<p>494.5/コン</p>	<p>322019845</p>	分類
				がん治療
				がん関係図書コーナー
				がん7
<p>『実践がんサバイバーシップ』 日野原 重明 監修ほか 医学書院(2014. 4)</p>	<p>がん患者に寄り添う医療とは何か、医療従事者のがんサバイバーへの理解をより深めるために、実践知識等を解説する。</p>	<p>494.5/ジツ</p>	<p>322019860</p>	分類
				がん医療者
				がん関係図書コーナー
				がん7
<p>『心配しなくていいですよ再発・ 転移大腸がん』 山口 俊晴 編修ほか 真興交易(株)医書出版部(2014. 4)</p>	<p>大腸がんの再発・転移による化学療法・手術療法・放射線療法を中心に、副作用の解説も含めてわかりやすい内容になっている。「抗がん剤一覧表」あり。</p>	<p>493.4/シン</p>	<p>322019852</p>	分類
				大腸がん
				がん関係図書コーナー
				がん2